

みんなが楽しめる ゲームを考えよう

小学校2年生

I アクティビティーについて

ねらい

誰もが一緒に楽しめるゲームを相談してつくり、楽しむ経験を通して、みんな楽しく、仲良く生活できるためには、公平・公正が必要であることを知り、公平や公正を尊重しようとする態度を育てる。

◆◆◆視点◆◆◆

- ◎公平・公正
- 参加・参画
- 共感と連帯感
- コミュニケーション能力

設定の理由

この発達段階の児童は、学校にも慣れてきて、みんなで楽しく遊ぶことを期待するようになるが、自己中心的な傾向も強く、ゲームに勝つことだけを求めがちなどころもあり、公平・公正の大切さを理解していない面がある。

そこで、みんなで楽しめる遊びを協同して工夫し、実際にやってみながら、「みんなが楽しめるゲーム」となる条件を考えたり、話し合ったりする活動を通して、公平・公正についての理解を深めさせ、それを尊重する態度を育成したい。

アクティビティーの概要 (4時間扱い)

活動1 「ハッピータイム」(楽しいボール遊び)の計画 1時間
・みんなが楽しめるゲームをつくる。



活動2 「ハッピータイム」(楽しい遊び)の実施(体験活動) 2時間
・みんなで工夫した遊びを実行する。



活動3 「ハッピータイム」のふり返し 1時間
・みんなが、さらに楽しめる遊びにするには、どうしたらよいか考える。

アクティビティーの実際

- 準備するもの
 - ・遊びの計画が書ける「ハッピータイム計画表」
 - ・遊びを説明する用紙
- アクティビティーの進め方

活動1 「ハッピータイム」(楽しいボール遊び)の計画

- ① グループごとにボールを使って、楽しめるゲームを考える。

— 教師の指示例 —

やり方やルール、必要な用具などをまとめて発表できるようにしましょう。

- ② 全員の子どもたちが楽しめる遊びになっているかを見直すことを指示する。

— 教師の指示例 —

どんなところを工夫すると全員が遊びを楽しむことができますか。

- ③ グループごとに考えた遊びを学級全体で話し合い、よりよい遊びを提案する。

活動2 「ハッピータイム」(楽しいボール遊び)の実施

- ① 全員でボール遊びをする。

活動3 ふり返り

- ① 遊んだ感想を発表し合い、さらに楽しく遊ぶためにはどうしたらよいか考える。
- ② どんな点に気をつけて、遊び方を工夫したらよいか考える。

発問例 みんなで楽しく遊ぶためには、どんな工夫をしたらよいですか。

アクティビティーを指導するポイント

- ◇ はじめにアクティビティーを行うことにより、「みんなが楽しめる」という視点に立ったゲームづくりや話し合いができるようにする。
- ◇ 一人一人の児童の思いや考えを見取るためにもくおもいやりカード>やくかんそうカード>を書くようにする。児童の温かい言葉は、学級に紹介し児童の思いやりの心を育てるようにする。

Ⅱ 授業展開例

～小学校2学年「学級活動」における授業展開例～

時	学 習 活 動	教 師 の 働 き か け
1	<p>1 グループごとにボールを使った新しいゲームを考える。</p> <p>○月○日 第○会 えがおかいぎ(子どもたちの話し合いの場)</p> <p>司会：教師の助言を得ながら会の進行を行う。(2名) 黒板記録：みんなの意見をわかりやく黒板に記録する。(2名) ノート記録：話し合いの内容を記録し、決まったことを発表する。(1名)</p>	<p>○「学級のみんなが楽しめるゲームを作りたい」という意見がありました。そこで、学級全員が楽しめるゲームをみんなでアイデアを出し合って決めましょう。</p> <p>○計画委員の児童に、自分の役割を確認して話し合いを進めるように励ます。</p>
<p><議題> みんながたのしめるハッピータイムのけいかくをたてよう。</p>		
	<p>① はじめのことば ② 学級の歌 ③ 計画委員会の紹介 ④ 議題の確認 「ハッピータイムの計画」 ⑤ 提案理由の説明 ⑥ 話し合い ○グループでの話し合い ○学級での話し合い</p>	<p>○楽しく学級の歌をうたい、話し合いの雰囲気づくりをする。</p> <p>○議題の確認と提案理由の説明を教師が補足し、全員の児童が理解して話し合いに参加できるようにする。</p> <p>○はじめに、自分の意見が出せるようにグループなどの少人数での話し合いを行うように助言する。</p> <p>○できるかぎり理由も発表するように助言し、本時のねらいが達成できるようにする。</p>

	<p>2 決まったことの発表</p> <p>3 先生の話</p> <p>4 おわりのことば</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◎みんなが楽しめるゲームになるよう、自分の考えを発表したり友だちの考えを聞いたりできる。</p> <p>○みんなが楽しめるゲームになるよう友だちの考えを聞いている。</p> <p>→自分の考えを発表できるように励ます。</p> </div> <p>○計画委員の児童のよい進行の仕方や話し合いの様子から、提案理由を大切にしていた発言を具体的に認め、事後の活動の意欲が高まるようにする。</p>
<p>2</p>	<p>1 「ハッピータイム」を行う。</p> <p>○月○日</p> <p>「ハッピータイム」</p>	<p>○話し合いをもとに準備をし、全員が楽しめるゲームを行う。</p> <p>○学級活動1時間を集会にあてる。</p> <p>○集会の進行は児童に任せ、教師も一人一人の児童を観察しながらゲームに参加する。</p>
<p>1</p>	<p>1 「ハッピータイム」を見直す。</p> <p>○ワークシートに記入する。</p> <p>○「学級会」及び「ハッピータイム」をふり返る。</p>	<p>○ワークシートをもとに、「ハッピータイム」をふり返る。</p> <p>○さらに全員が楽しむにはどうしたらよいかを一人一人の児童が考えられるようにする。</p> <p>○みんなで工夫した遊びをしてどんな気持ちになったか考えるようにする。</p>

Ⅲ 資料

(1) おもいやりカード

みんながたのしめるハッピータイムの
さくせんけいかくをたてよう

年 組 名前

☆みんながたのしむには、どんなあそびがよいでしょう。

☆
☆
☆
☆

☆わたしのあそびをていあんしよう→みなおそう

わたしのあそびのていあん	ともだちのいけんをきいてみなおそう

<ハッピータイムの計画>

○ルール

○くふうしたところ

(2) ふり返りカード

「ハッピータイム」にみんなでとりくんで

年 組 名前

☆みんながたのしむためには、どんなくふうをしましたか。

☆ともだちのアイデアでかんじたことがありますか。

☆ここにのこったことはなんですか。

☆これからどんなあそびをやっていきたいですか。